



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |                                                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 北海道大学映像・現代文化論学会彙報                                                                 |
| Citation         | 層 : 映像と表現, 11, 277-278                                                            |
| Issue Date       | 2019-03-20                                                                        |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/73535">https://hdl.handle.net/2115/73535</a> |
| Type             | other                                                                             |
| File Information | gakkai_ihou.pdf                                                                   |



# 北海道大学映像・現代文化論学会 彙報

(肩書きの記載のないものは、映像・表現文化論講座教員)

◎主催 北海道大学大学院文学研究科 映像・表現文化論講座

◆北海道大学映像・現代文化論学会 創立大会

◎日程 二〇一七年十一月一日(土) 一三時～一七時三〇分

◎会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

W四〇九会議室

◎運営委員 王玉輝・垣花常武・中井朋美・中村建

## 《プログラム》

総合司会 押野 武志

・開会の辞 中村 三春

・ご挨拶 北海道大学大学院文学研究科長 山本 文彦

○研究発表

成瀬巳喜男監督『めし』をめぐる対立と同一化の運動性

博士後期課程 黄 也

司会 北海学園大学教授 大石 和久

今村昌平の「重喜劇」における「インセスト」の問題

——『神々の深き欲望』をめぐる

修士課程 モルナール・レヴェンテ

司会 博士後期課程 朱 依拉

ジャン＝リュック・ゴダール『映画史』『3A』における

「思考する形式」をめぐる

——ジョルジュ・バタイユの思想から

博士後期課程 松田真莉子

司会 博士後期課程 梶原 彩

○講演

パストラルとメロドラマ

——ハリウッド映画の表象モードを再考する

立教大学教授 中村 秀之

講師紹介 応 雄

・閉会の辞

水溜真由美

◆第二回 北海道大学映像・現代文化論学会大会

○日程 二〇一八年十一月一七日（土）一〇時～一七時三〇分

○会場 北海道大学人文・社会科学総合教育研究棟

W四〇九会議室

○運営委員 何雯・龔金浪・佐藤颯・楊晴

## 《プログラム》

・開会の辞

総合司会 水溜真由美

中村 三春

## ○研究発表

ヤンチョー・ミクローシュの世界における国家統制と儀式

——『密告の砦』をめぐる

博士後期課程 モルナール・レヴェンテ

司会 博士後期課程 桒原 彩

大和屋竺『裏切りの季節』における写真運用と「地獄」

修士課程 崔ブンシヨウ

司会 修士課程 佐藤 颯

魚喃キリコ『strawberry shortcakes』と大島弓子『F式蘭丸』からみる少女マンガの技法変遷

修士課程 鄭ブンイク  
司会 修士課程 堅田 諒

中国映画『緑茶』における分身表象についての考察

——「消去された他者」を手がかりに

博士後期課程 王 玉輝  
司会 博士後期課程 黄 也

島宇宙の内から外へ

——「ウェブ小説」の再評価——

博士後期課程 酒井駿太郎  
司会 博士後期課程 杉本 圭吾

## ○講演

雑司ヶ谷の光と影

——『東京暮色』（一九五七年）と『珈琲時光』（二〇〇三年）——

京都大学大学院准教授 木下 千花  
講師紹介 応 雄

・閉会の辞

押野 武志